

第3回 新潟市観光・文化検定 解答

1級

< 語句記述問題 >

問 1	よろづよばし、よろず よばし	問 2	新潟ゴルフ倶楽部 クラブでも可	問 3	古津八幡山遺跡 古津なしでも可	問 4	鷺尾雨工	問 5	7・5
問 6	小林米作	問 7	地図にない湖、芦沼 どちらも正解	問 8	ジュリアナ号	問 9	一二三いろは	問 10	こしの千涯
問 11	菩提寺山	問 12	菖蒲塚古墳	問 13	さんばいしかぐら カタカナでも可	問 14	石川雲蝶	問 15	空気潜函工法、ニュー マチックケーソン工法 どちらも正解
問 16	澤将監 沢も正解	問 17	満願寺	問 18	新潟測候所、新潟地方 气象台 どちらも正解	問 19	新潟カトリック教会	問 20	入船みなとタワー
問 21	大和田愛羅	問 22	ガタケット	問 23	笹岡了一	問 24	和納十五夜まつり まつりは漢字も可	問 25	新津記念館 新津邸、新津記念美 術館も可
問 26	木揚場教会 木揚げ場教会も可	問 27	高橋源助	問 28	バシクルモン	問 29	ござれや	問 30	小林存
問 31	旅愁	問 32	鉄工丸	問 33	川田芳子	問 34	曾川切れ	問 35	北越奇談
問 36	竹内式部	問 37 ~ 38	越後伝衛門、小黒酒造、越後酒造場、村祐酒造、今代 司酒造、越の華酒造、石本酒造、塩川酒造、樋木酒造、 高野酒造、宝山酒造、福井酒造、上原酒造、笹祝酒造、 朝妻酒造、(濱倉酒造)	問 39 ~ 40	ホワイト阿賀、チューリップ、アザレア、ボケ				
問 41 ~ 42	あぶさん、水原勇氣、岩田鉄五郎、岩鬼(正美)、里 中(智)、殿馬(一人)	問 43 ~ 44	(鳥屋野の、西方寺の)逆竹、(山田の)焼鮎、川越 名号 逆さ竹、焼き鮎も正解	問 45 ~ 47	澤田敬義、荻野久作、 會津八一 沢、会津も可				
				問 48 ~ 50	聖籠町、田上町、弥彦村				

< 穴埋め記述問題 >

問 51	すずき ひらがな、カタカナ 両方可	問 52	あかさび ひらがな、カタカナ 両方可	問 53	有願	問 54	円通庵	問 55	小倉幸光
問 56	村田三郎	問 57	ツツガムシ 漢字(恙虫)、平仮名 も可	問 58	赤虫	問 59	凜足柵 漢字のみ正解	問 60	柵戸 漢字のみ正解
問 61	錨、いかり、碇	問 62	雪環、ゆきわ 雪、雪のマーク、雪 の印、雪の結晶なども 可	問 63	加藤登紀子	問 64	椎名誠	問 65	大陸、アジア大陸、ユ ーラシア大陸
問 66	日本海、東海	問 67	ふるさとは語ることな し	問 68	新潟大神宮	問 69	尾崎行雄	問 70	北越興商会

< 短文記述問題 >

問 71～72 [解答例]

蟹の手振り

天保14(1843)年、長岡藩領から幕府直轄領になった港町新潟の初代奉行として10年間在勤した川村修就が、後世に残すべき良俗として描かせた町の風俗絵巻。郷土資料館所蔵「川村文庫」の1つで、「浜のイワシ網漁」「盆踊り行列」など6つの情景が描かれている。「蟹」は海の漁民。「手振り」は風俗の意味。

水戸教

河口港の新潟は流砂で水深が浅く船の出入が難しかったので、日和山に船見櫓を建て、他港に先んじ水先案内を始めた。のちに「水戸教」と呼ばれ、昭和4(1929)年に県営となるまで伊藤仁太郎家が代々携った。監視所は東の船見町に移り、旧日和山には住吉神社が建てられ、後に監視所が焼失した跡地は水戸教公園となった。

新潟・白根仏壇

江戸中期から300年以上の歴史を持つ「新潟・白根仏壇」は、昭和55(1980)年に国の伝統的工芸品に指定された。伽藍師と呼ばれる寺院を建てる職人が、京都から技法を持ち帰ったのが始まり。京形仏壇に彫刻を施し「白木仏壇」を考案。工程ごとの五職の分業で、蒔絵を多く施しているのが特徴である。

三ヶ津

中世の越後平野では陸路より舟運水上交通が主体で、信濃川と阿賀野川の両大河が、すべての支流や潟湖の水を集め、1カ所の河口に合流して舟運を集中させていた。そして阿賀野川右岸に沼垂湊、信濃川左岸には新潟津、両川の間には蒲原津があり、併せて「三ヶ津」と呼ばれて、物資流通や軍事上の拠点となった。

柳都振興株式会社

一般公募で採用の女性社員を芸妓に養成し、お座敷やイベントに派遣する、全国初の株式会社。江戸時代から栄えてきた港町新潟の花街は、伝統と高い格式で全国に知られてきたが、時代とともに衰退一方。この花柳界を市民の力で復興しようと、新潟商工会議所と地元企業が株主となり設立された。

新潟市観光・文化検定実行委員会